

国語

第4学年

育成を目指す資質・能力

【自律的活動能力】【コミュニケーション能力】

## ごんぎつね ～ぼくのわたしの劇「ごんぎつね」を創ろう～

### 【単元の概要】

劇づくりに向けて、①背景・大道具②音響③小道具・衣装④演技(表現)を創るために必要な情報を「ごんぎつね」の教材文から見付けていきます。人物の言動とその心情の変化に着目して読むことにより、一読後の一面的な感想から、ごんや兵十の切ない思いを推し量る深い読みへと変化させていきます。

### ◆単元の目標

- ・ 叙述を基に、登場人物の性格や気持ちの変化、その原因を読み取ることができる。
- ・ 劇を創るために「ごんぎつね」を読み、考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くことができる。

### ◆単元の計画(全11時間+朝読書の時間+総合的な学習の時間+特別活動《学校行事》)

#### 【課題の設定(1時間)】

- ・ 学習発表会が近づいてきて、今年もよりよい劇を披露したいと児童が思っている中、劇化された「モチモチの木」を視聴し、物語を自分たちで劇化することに興味・関心をもつ。自分たちの「ごんぎつね」を創ることを意識する。演じるために、登場人物やあらすじを把握するとともに、人物像や心情の変化を捉え、台本を検討することを意識して読む計画を立てる。
- ・ 物語で一番盛り上げる場面、そこで何を伝えたいといけなかなどを捉える必要があることに気付く。

#### 【情報の収集、整理・分析(8時間)】

- ・ 思考ツール(人物関係図・心情曲線)を活用し、中心となる人物の気持ちの変化のきっかけになる出来事は何か、その出来事とほかの人物はどのように関わっているかを考えていく。
- ・ 場面の移り変わりに注意しながら読み、物語全体を通した人物の性格や人物の気持ちの変化を捉える。

#### 【まとめ・創造・表現(2時間)】(総合的な学習の時間と関連)

- ・ 自分たちの「ごんぎつね」に対する最初の感想と学習後の感想を基に劇の台本の内容を考えることで、一人一人が感じたことを共有し合う。学習前と学習後の登場人物への思い(解釈)を対応しながら考える。
- ・ 学習した内容を自分たちの「ごんぎつね」の劇の表現活動(音響、照明、背景づくり、登場人物の動きや台詞の言い方など)に生かす。
- ・ 自らの考えを表現するとともに、仲間と協働して劇を作り上げていく。

#### 【実行(学校行事)】

- ・ 学習発表会で発表する。

#### 【振り返り】

- ・ 日常の読書活動において、叙述を根拠とした読書感想メモを書こうとする意欲をもつ。

#### 【単元後】(※学級だより)

- ・ 劇を創ることを通して考えた作品のよさ、一人一人の感じ方を共有できる学びの面白さを発信する。

## その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	お気に入りののりものを ほいくえんのともちに しょうかいしよう 1年 説明文 いろいろなふね
	2	1年生に、手作りおもちゃの作り方やあそび方を分かりやすくせつ明しよう 2年 「おもちゃ教室」をひらこう
	3	はたらく犬リーフレットを作り、地域の人に知ってもらおう 3年 説明文 もうどう犬の訓練
	4	けごや小学校新聞を作ろう 4年 みんなで新聞を作ろう
	5	「ありがとう集会」で私たちの思いを伝えよう 5年 六年生におくる字をすいせんしよう
	6	警固屋の町づくりについて提案しよう 6年 説明文 町の未来をえがこう 町の幸福論-コミュニティデザインを考える
算数	1	すうずぶろっくでかんがえる 1年 たしざん(1)
	3	もようづくりにちょうせん 3年 円と球
理科	4	モーターカーレースをしよう 4年 電気のはたらき
総合的な学習の時間	4	「警固屋の町の安全について考えよう～『安全な警固屋の町にしよう』プロジェクト～」
	6	「未来を切り拓こう～警固屋の町の歴史と今と未来『警固屋の町活性化プロジェクト』～」